

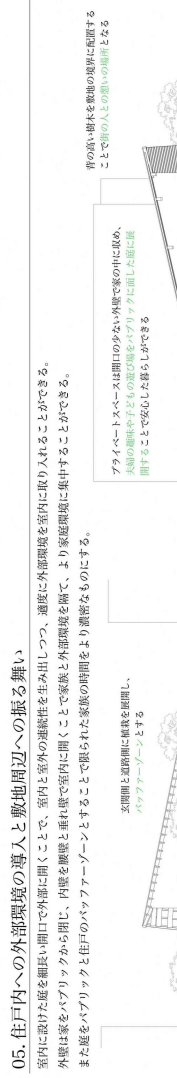
04. 子どもの成長に伴い変化し変化する壁と垂れ壁の認識による空間利用の変化

壁と垂れ壁を子どもも成長を見越して配置することで、乳幼児期から未就学期、児童期と子供の身体的な成長に伴って変化させる空間認識に対応した行動ができるようになっていく。利用方法の柔軟性は住人の工夫を生み、想像力次第で新たな発見をすることができる。

乳幼児期 (0-3 歳) 常に見え、触れられる壁は、低い階層で遊びの場となる。壁を触ることで、空間を認識し、遊びの場を確保する。また、子どもと大人との視線の差を調整し、親子のコミュニケーションを促進する。

未就学期 (4-6 歳) 壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

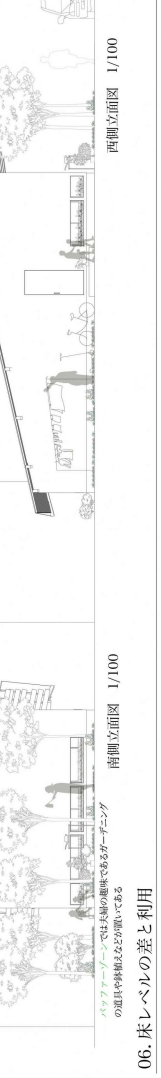
児童期 (7-13 歳) 壁と垂れ壁の間隔を広くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。



05. 住戸内への外部環境の導入と敷地周辺への振る舞い

窓内に設置した壁と垂れ壁の間隔を広くすることで、室内と室外の連続性を生み出し、通気性と採光性を確保することができる。また、壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。

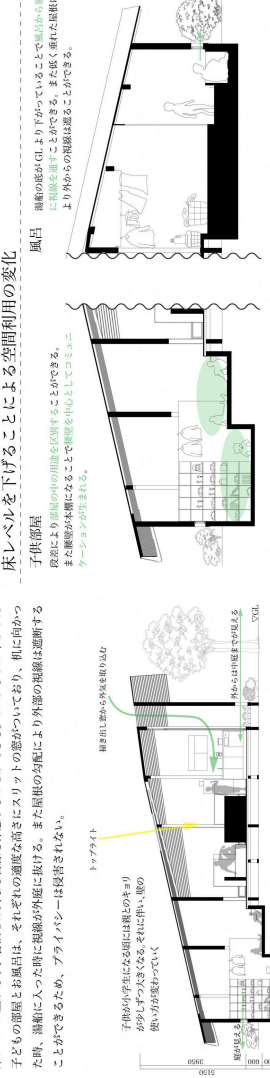
壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。



06. 床レベルの差と利用

床レベルに差があり、普段とは異なる目線を体験することができる。GIから1m下がった子ども部屋の床は、それぞれの用途に応じてスリットの配置が異なり、奥に向かうにつれて、床の高さが徐々に上がる。また、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。

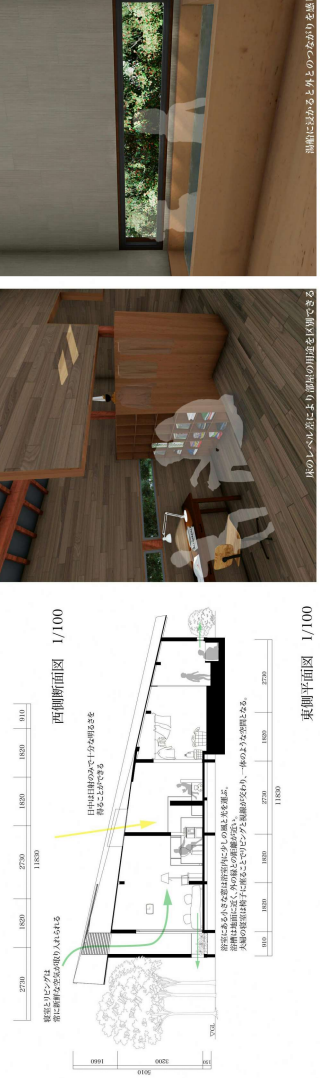
壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。



07. 壁と垂れ壁による空間の活用

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。



08. 壁と垂れ壁による空間の活用

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

01. 子供の成長に対応できない現代住宅のカタチ

現代の住宅は、部屋ごとに壁で閉じきり、人はそれぞれの部屋に閉じこもることで、家族同士で過ごす機会が減少し、家族のコミュニケーションが薄くなる。また、有為な遊び場や子どもの成長を促すような空間が不足している。壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。

生活の跡と団欒の記憶

距離を織りなす壁と垂れ壁

子育てを楽しむことは、子どもの成長を促すこと。成長に伴って変化する子どもの居場所を確保し、壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。

02. 絶妙なキヨリを生み出す壁と垂れ壁

一般的な住宅の壁と垂れ壁の間隔は、壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

03. 壁と垂れ壁による空間の細分化

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

04. 子どもの成長に伴い変化し変化する壁と垂れ壁の認識による空間利用の変化

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁の高さ表 (床からの高さ)

1	400mm	2	600mm	3	800mm
4	1000mm	5	1200mm	6	1730mm
7	1570mm	8	1200mm	9	1400mm
10	1800mm	11	2000mm		

子どもの部屋

この子どもの部屋は、壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁と垂れ壁の間隔を狭くすることで、壁の奥行きを確保し、遊びの場を確保する。また、壁の奥行きを確保することで、壁の奥行きを確保する。

壁と垂れ壁の間隔

1	400mm	2	600mm	3	800mm
4	1000mm	5	1200mm	6	1730mm
7	1570mm	8	1200mm	9	1400mm
10	1800mm	11	2000mm		

壁と垂れ壁の間隔

1	400mm	2	600mm	3	800mm
4	1000mm	5	1200mm	6	1730mm
7	1570mm	8	1200mm	9	1400mm
10	1800mm	11	2000mm		

